

2 飲料水の備蓄量

問33（問32で「1. 備蓄している」と回答した方へ）

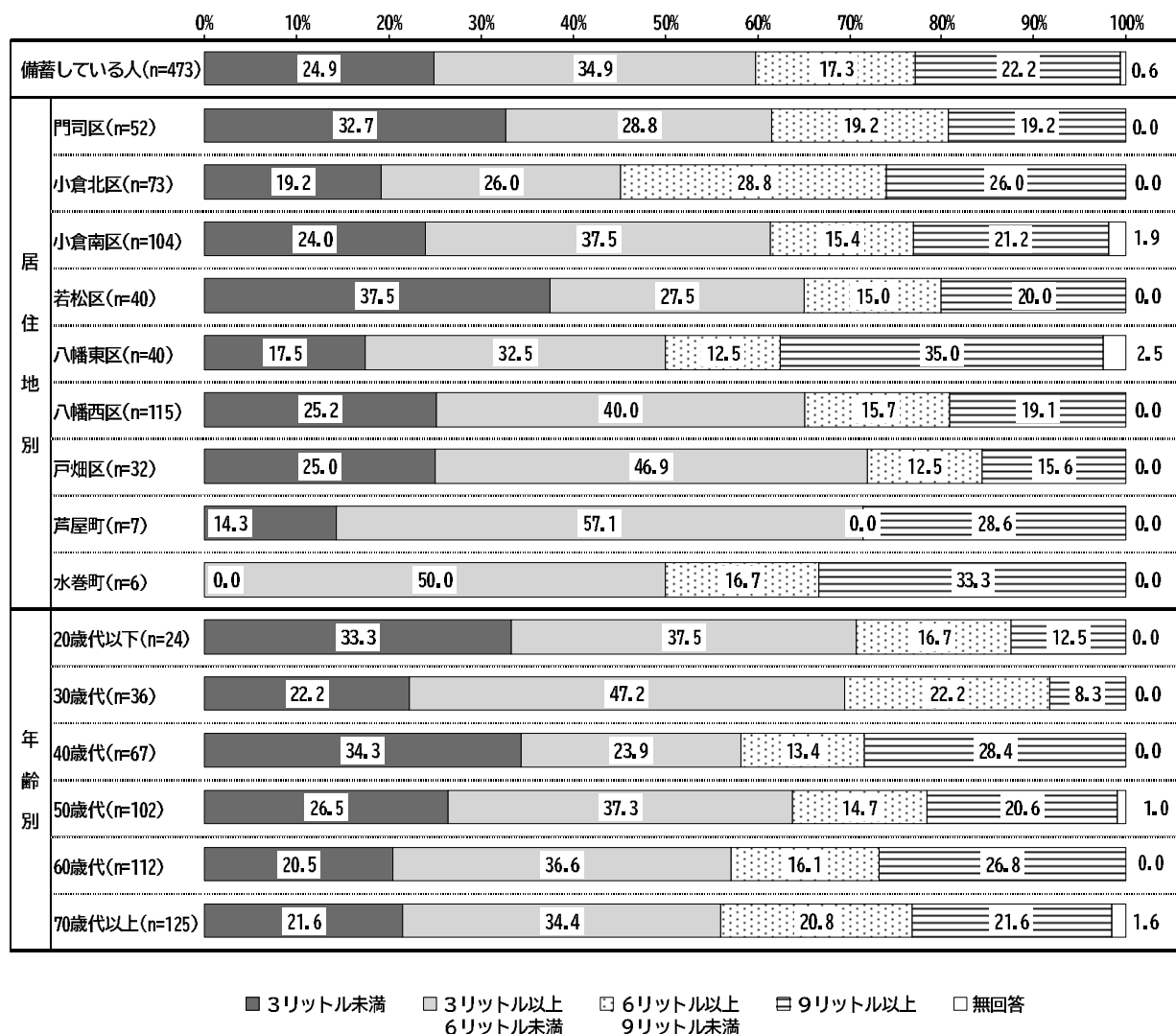
1人当たり、どのくらいの量の飲料水を備蓄していますか。（○印は1つだけ）

災害に備えて備蓄している世帯で、1人当たりどのくらいの量の飲料水を備蓄しているかをみると、「3リットル未満」が24.9%、「3リットル以上6リットル未満」が34.9%、「6リットル以上9リットル未満」が17.3%、「9リットル以上」が22.2%となっている。

居住地区別にみると、若松区では「3リットル未満」が37.5%、八幡東区では「9リットル以上」が35.0%と多くなっており、居住地間での差がみられる。

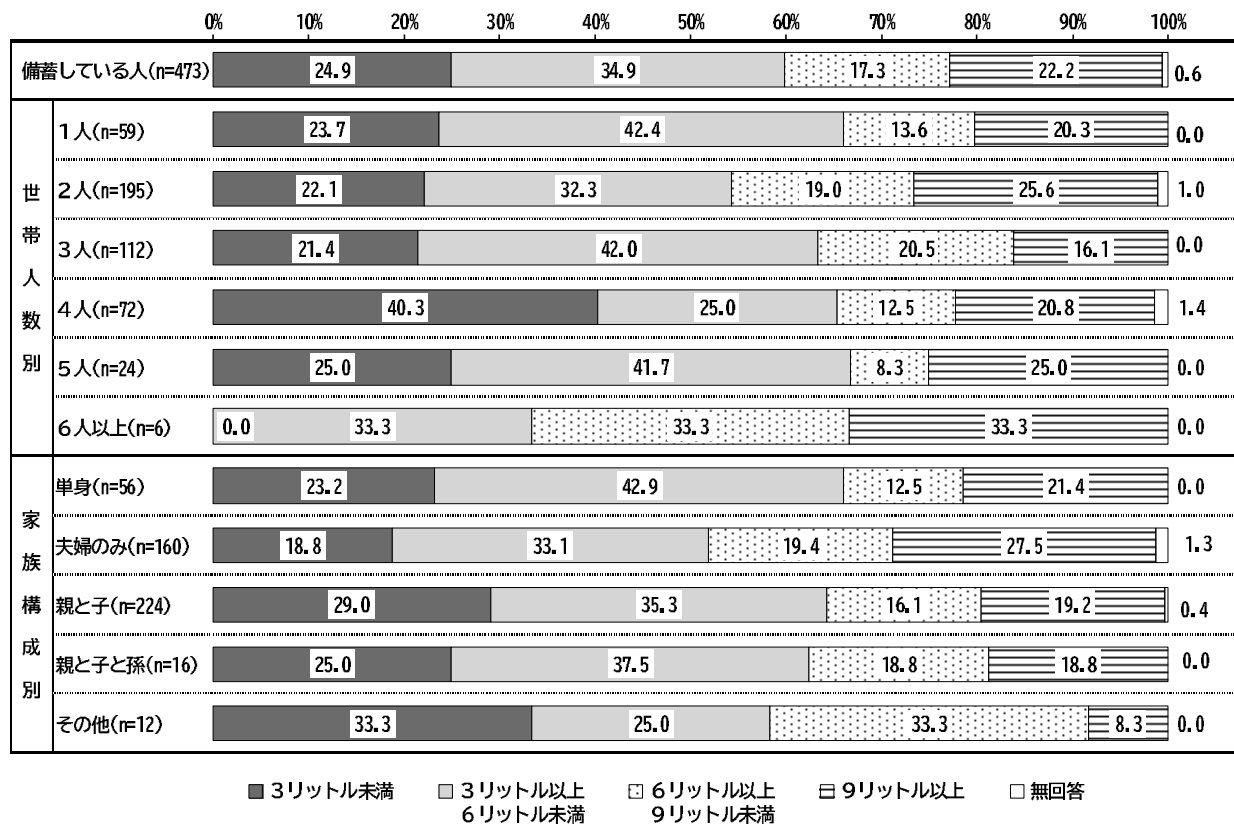
年齢別にみると、30歳代以下に比べて40歳代以上で「9リットル以上」が多くなっている。

図表7-2-1 飲料水の備蓄量



世帯人数別みると、4人世帯で「3リットル未満」が40.3%と多くなっている。

図表7-2-2 飲料水の備蓄量



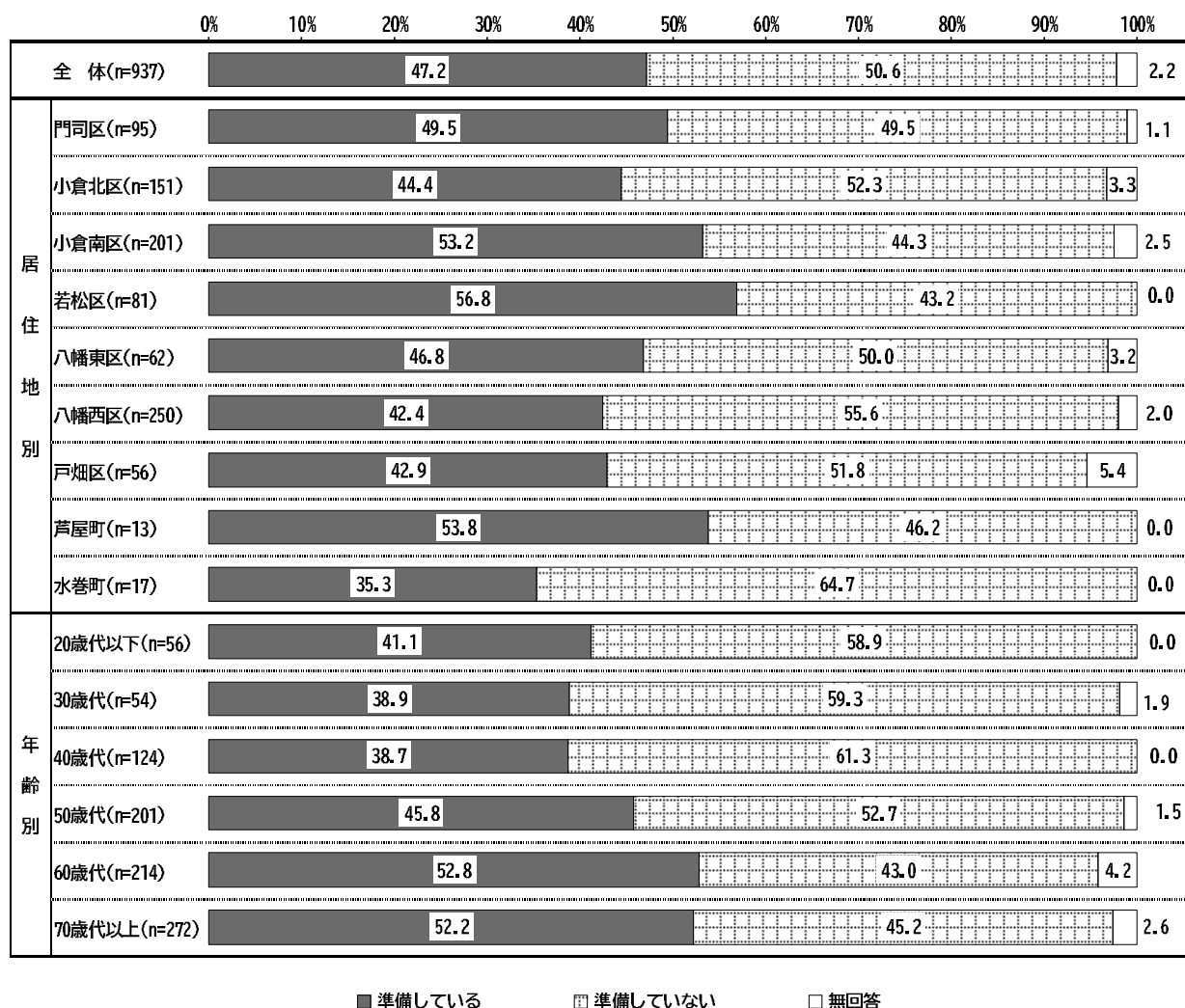
3 ポリ容器等の準備

問34. 災害時に備えて、ご自宅でポリ容器やペットボトル等の容器を準備していますか。

災害時に備えて、ご自宅でポリ容器やペットボトル等の容器を準備しているかをみると、「準備している」は47.2%、「準備していない」が50.6%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「準備している」が多くなる傾向がみられる。

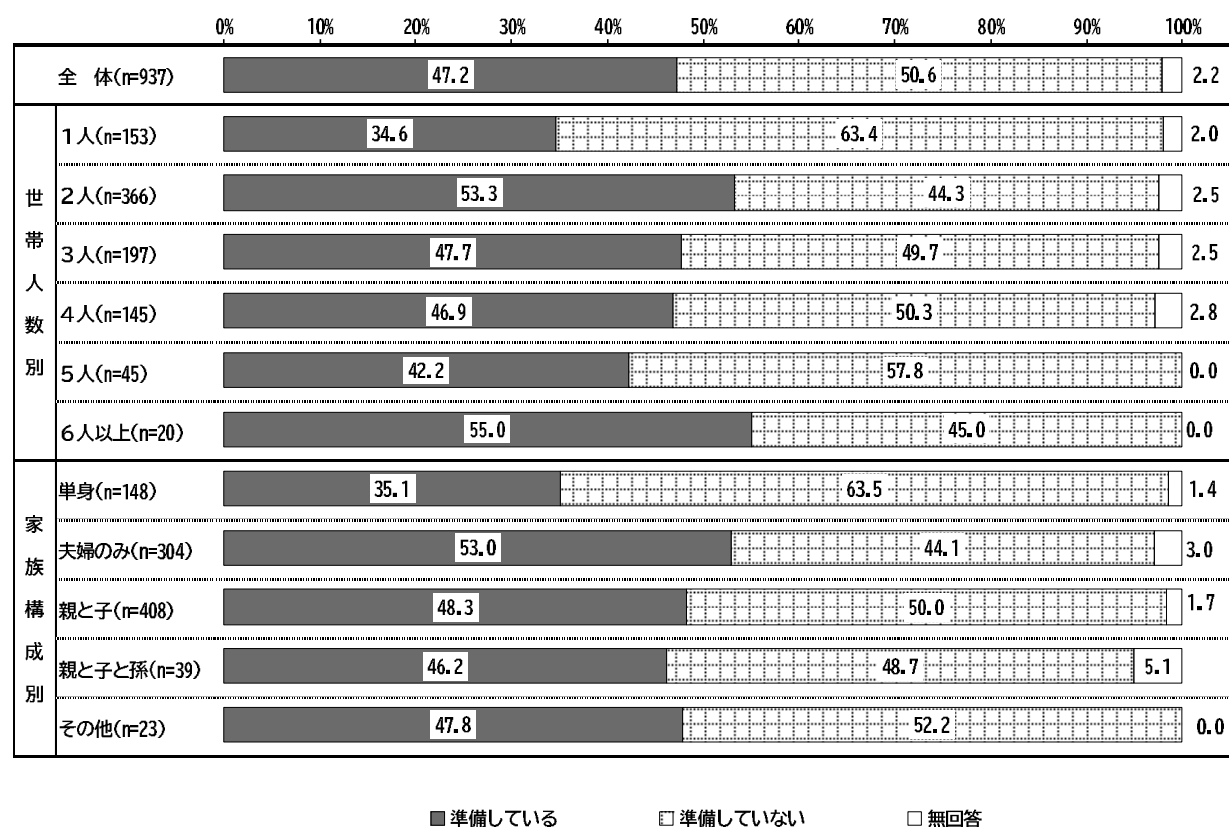
図表7-3-1 ポリ容器等での準備状況



世帯人数別にみると、1人世帯で「準備している」が34.6%と、他の世帯に比べて少なくなっている。

家族構成別にみると、単身世帯で「準備している」が35.1%と、他の世帯に比べて少なくなっている。

図表7-3-2 ポリ容器等での準備状況



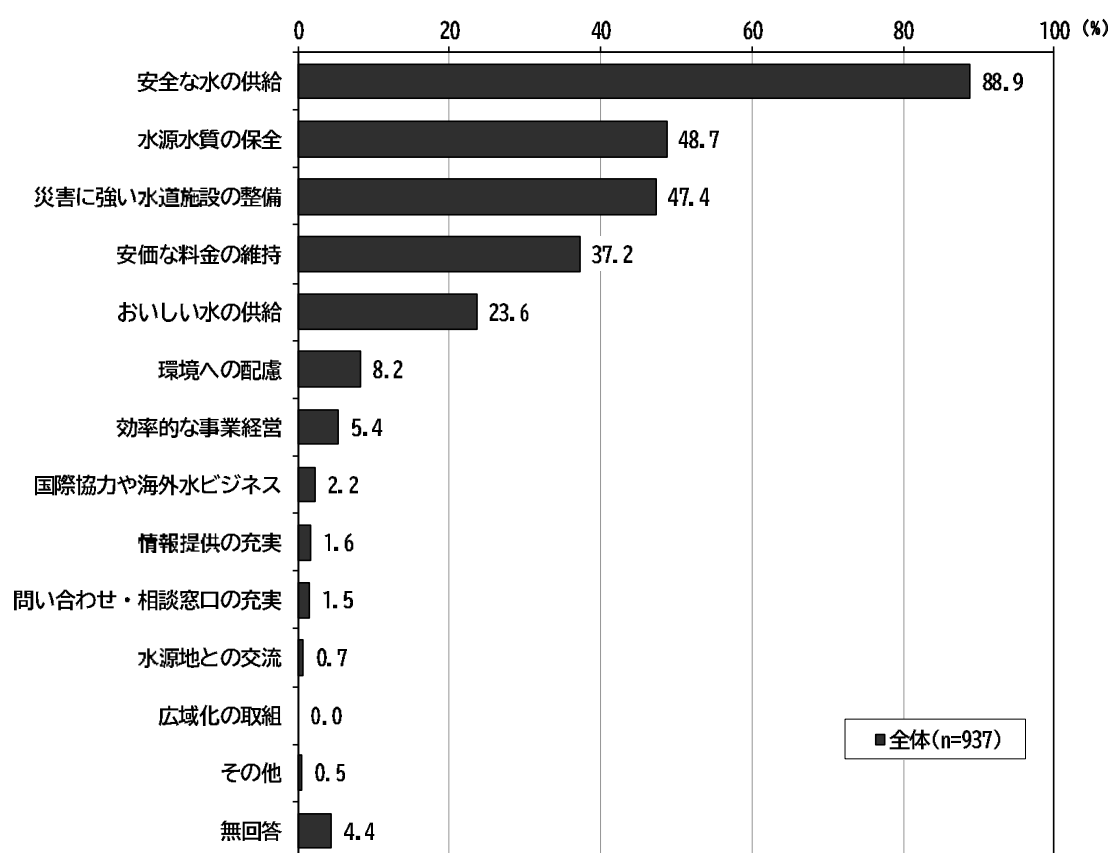
§ 8 水道事業への要望について

1 今後重点的に力をいれてほしい水道事業

問35. あなたが、北九州市の水道事業について、今後、重点的に力をいれてほしいものは何ですか。
(○印は3つまで)

北九州市の水道事業について、今後、重点的に力をいれてほしいものとしては、「安全な水の供給」が88.9%と最も多くなっている。次いで「水源水質の保全」が48.7%、「災害に強い水道施設の整備」が47.4%、「安価な料金の維持」が37.2%、「おいしい水の供給」が23.6%となっている。

図表8-1-1 今後重点的に力をいれてほしい水道事業



各属性別にみると、細かな差はみられるものの、特徴的な傾向はみられない。

図表8-1-2 今後重点的に力をいれてほしい水道事業

																(%)
		サンプル数 (件)	安全な水の供給	水源水質の保全	災害に強い水道施設の整備	安価な料金の維持	おいしい水の供給	環境への配慮	効率的な事業経営	国際協力や海外水ビジネス	情報提供の充実	問い合わせ・相談窓口の充実	水源地との交流	広域化の取組	その他	無回答
全 体		937	88.9	48.7	47.4	37.2	23.6	8.2	5.4	2.2	1.6	1.5	0.7	-	0.5	4.4
居住地別	門司区	95	91.6	38.9	57.9	40.0	26.3	7.4	9.5	4.2	-	2.1	1.1	-	-	1.1
	小倉北区	151	84.1	56.3	41.1	32.5	25.2	9.3	5.3	2.0	2.0	2.0	1.3	-	0.7	5.3
	小倉南区	201	89.6	51.7	50.7	33.3	25.4	9.5	5.5	2.0	1.5	2.0	0.5	-	0.5	3.0
	若松区	81	90.1	37.0	51.9	39.5	21.0	8.6	7.4	1.2	-	1.2	-	-	1.2	6.2
	八幡東区	62	91.9	50.0	50.0	30.6	16.1	8.1	-	1.6	1.6	1.6	-	-	1.6	6.5
	八幡西区	250	90.8	52.0	45.6	40.8	20.4	6.8	4.8	2.4	2.8	0.8	0.8	-	0.4	3.6
	戸畑区	56	82.1	37.5	44.6	32.1	28.6	12.5	5.4	3.6	-	-	-	-	-	12.5
	芦屋町	13	92.3	46.2	38.5	46.2	38.5	-	-	-	-	-	7.7	-	-	7.7
年齢別	水巻町	17	82.4	47.1	23.5	64.7	29.4	5.9	11.8	-	5.9	5.9	-	-	-	-
	20歳代	56	80.4	51.8	28.6	55.4	28.6	14.3	5.4	-	-	3.6	-	-	1.8	-
	30歳代	54	83.3	57.4	57.4	38.9	29.6	1.9	-	-	1.9	-	-	-	1.9	5.6
	40歳代	124	92.7	49.2	44.4	45.2	24.2	5.6	6.5	1.6	0.8	-	1.6	-	-	4.8
	50歳代	201	90.5	48.8	46.8	37.8	23.4	8.5	3.5	1.5	1.0	2.5	0.5	-	0.5	4.5
	60歳代	214	89.3	48.6	53.7	31.3	22.0	7.9	8.9	1.9	1.4	0.5	0.5	-	0.5	3.7
	70歳以上	272	88.6	46.3	46.3	33.5	22.4	9.6	5.1	4.0	2.9	2.2	1.1	-	0.4	5.5
満足度別	満足派	797	90.1	49.4	49.2	34.6	22.7	8.7	5.3	2.6	1.3	1.1	0.8	-	0.4	4.5
	中間派	72	83.3	44.4	44.4	48.6	23.6	8.3	5.6	-	5.6	2.8	-	-	-	4.2
	不満派	56	82.1	46.4	28.6	58.9	35.7	3.6	5.4	-	1.8	5.4	1.8	-	3.6	1.8
水道種類別	家庭専用	896	89.1	48.9	48.2	36.7	23.0	8.4	5.2	2.3	1.6	1.6	0.8	-	0.6	4.4
	家庭と営業の兼用	15	86.7	60.0	20.0	60.0	26.7	-	6.7	-	-	-	-	-	-	6.7
使用水量別	20㎡以下	164	85.4	53.7	44.5	34.8	23.2	7.9	5.5	2.4	0.6	1.8	1.8	-	0.6	4.3
	21㎡～50㎡	481	91.3	49.3	50.5	36.0	23.7	9.1	5.8	2.3	2.3	1.2	0.4	-	0.4	3.5
	51㎡～100㎡	140	90.0	51.4	42.1	42.1	21.4	6.4	7.1	0.7	1.4	-	1.4	-	1.4	3.6
	101㎡以上	24	95.8	54.2	37.5	41.7	37.5	8.3	4.2	-	-	8.3	-	-	-	-

§ 9 下水道事業について

1 下水道使用時に気をつけていること

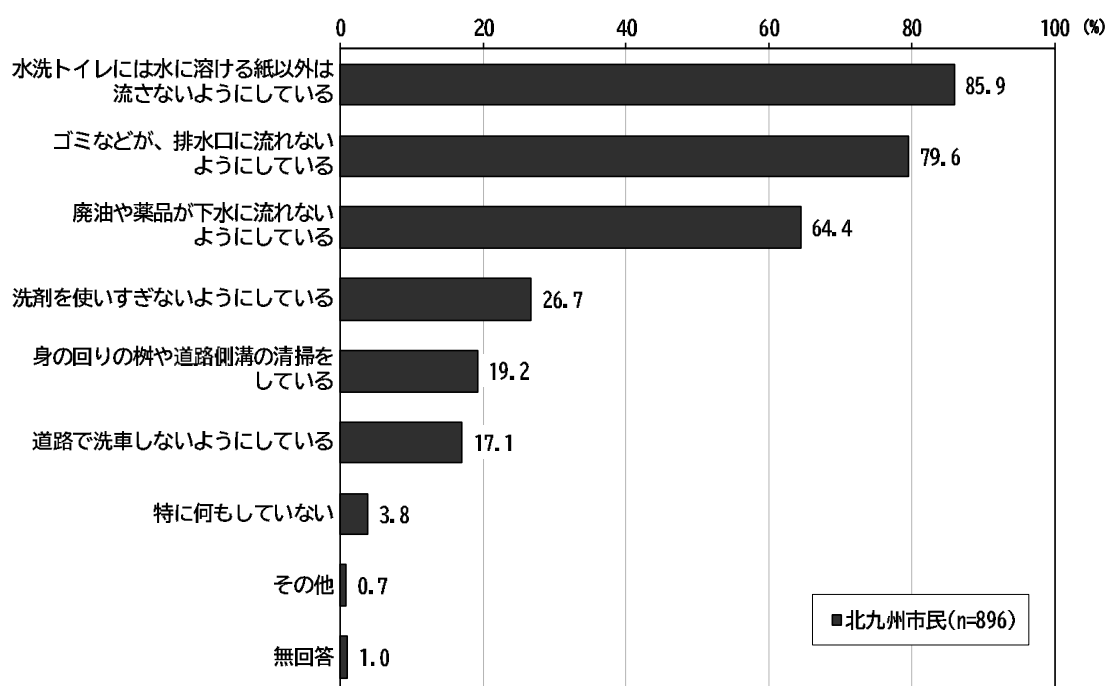
※問36～38については、北九州市にお住まいの方だけお答えください

問36. 下水道を使用するに当たって、どのようなことに気をつけていますか。(複数回答可)

下水道を使用するに当たって気をつけていることとしては、「水洗トイレには水に溶ける紙以外は流さないようにしている」が85.9%と最も多くなっている。次いで「ゴミなどが、排水口に流れないようにしている」が79.6%、「廃油や薬品が下水に流れないようにしている」が64.4%となっている。

「特に何もしていない」は3.8%とごくわずかである。

図表9-1-1 下水道使用時に気をつけていること



各属性別にみると、いずれの属性でも「水洗トイレには水に溶ける紙以外は流さないようにしている」、「ゴミなどが、排水口に流れないようにしている」、「廃油や薬品が下水に流れないようにしている」の3つが多くなっている。

図表9-1-2 下水道使用時に気をつけていること

											(%)
		サンプル数 (件)	水洗トイレには水に溶ける紙以外は流さないようにしている	ゴミなどが、排水口に流れないようにしている	廃油や薬品が下水に流れないようにしている	洗剤を使いすぎないようにしている	身の回りの糞や道路側溝の清掃をしている	道路で洗車しないようにしている	特に何もしていない	その他	無回答
北九州市民		896	85.9	79.6	64.4	26.7	19.2	17.1	3.8	0.7	1.0
居住地別	門司区	95	84.2	76.8	62.1	24.2	13.7	12.6	2.1	-	1.1
	小倉北区	151	82.8	80.1	56.3	24.5	11.3	11.9	4.6	2.0	0.7
	小倉南区	201	89.6	80.6	64.2	27.9	21.4	18.9	2.0	0.5	1.0
	若松区	81	86.4	74.1	72.8	32.1	32.1	22.2	4.9	1.2	1.2
	八幡東区	62	85.5	77.4	64.5	30.6	19.4	16.1	4.8	-	1.6
	八幡西区	250	85.2	81.6	67.2	24.8	23.2	18.8	4.0	0.4	0.4
	戸畑区	56	87.5	80.4	66.1	28.6	5.4	17.9	7.1	-	3.6
年齢別	20歳代以下	56	75.0	67.9	66.1	25.0	10.7	17.9	5.4	-	1.8
	30歳代	52	82.7	80.8	67.3	11.5	5.8	23.1	5.8	-	-
	40歳代	122	79.5	74.6	59.0	24.6	10.7	18.0	6.6	0.8	1.6
	50歳代	198	85.9	82.3	69.7	26.3	16.7	18.2	3.5	-	-
	60歳代	207	92.3	85.5	70.5	28.0	21.3	16.4	2.4	1.0	0.5
	70歳代以上	255	86.7	77.3	56.5	29.0	27.5	14.9	3.1	1.2	2.0
形態別	一戸建て	478	85.8	78.9	67.8	27.2	28.5	17.2	3.1	0.6	1.3
	マンション・アパート等	406	85.7	79.8	60.6	25.6	8.1	17.2	4.7	0.7	0.7
世帯人数別	1人	141	80.1	76.6	56.0	26.2	12.1	14.2	4.3	0.7	0.7
	2人	359	90.8	82.2	66.0	29.0	21.7	18.4	2.5	0.8	0.6
	3人	187	85.6	78.1	64.7	26.2	19.3	17.6	4.3	0.5	2.7
	4人	144	83.3	79.9	68.1	27.8	20.1	16.7	4.2	-	0.7
	5人	44	75.0	79.5	65.9	15.9	20.5	18.2	9.1	2.3	-
	6人以上	20	90.0	65.0	60.0	10.0	15.0	10.0	5.0	-	-
家族構成別	単身	136	81.6	77.2	57.4	27.2	13.2	14.7	3.7	0.7	-
	夫婦のみ	298	90.3	81.9	67.4	28.9	21.5	17.4	2.7	1.0	0.7
	親と子	396	84.1	79.3	64.6	25.0	19.4	17.9	5.1	0.5	1.3
	親と子と孫	39	89.7	69.2	59.0	15.4	23.1	5.1	-	-	-
	その他	22	81.8	90.9	68.2	45.5	9.1	31.8	4.5	-	4.5

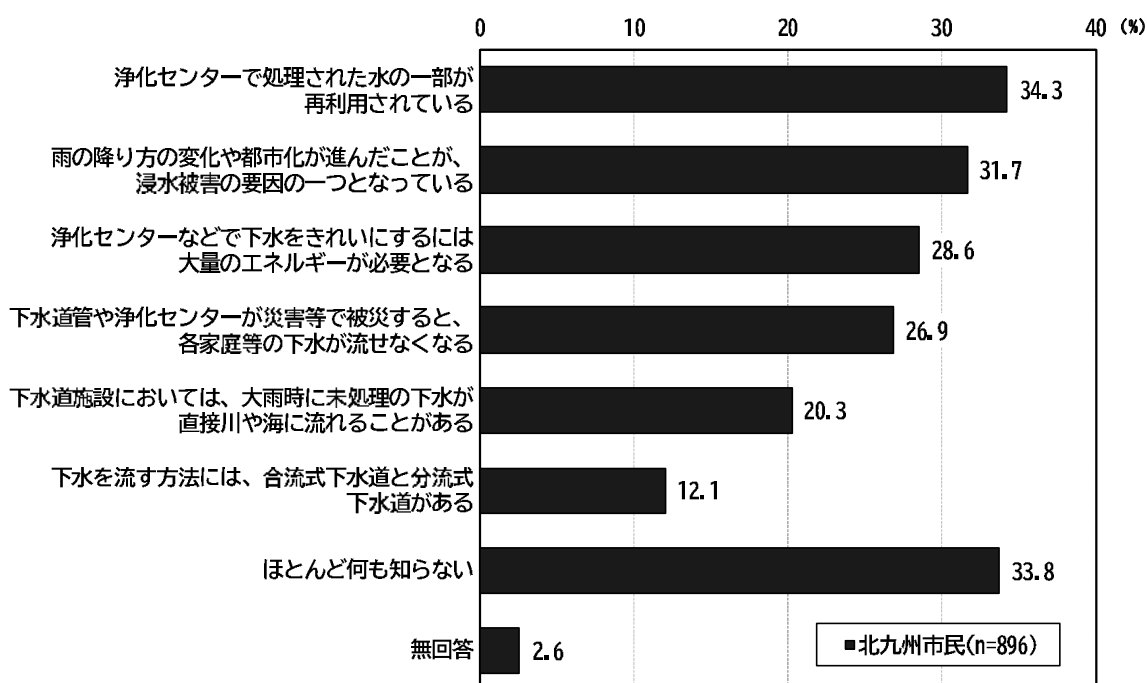
2 下水道の仕組み等

問37. 下水道の仕組み及び下水道を取り巻く環境などについて知っていることはありますか。(複数回答可)

下水道の仕組み及び下水道を取り巻く環境について知っていることとしては、「浄化センターで処理された水の一部が再利用されている」が34.3%と最も多くなっている。次いで「雨の降り方の変化や都市化が進んだことが、浸水被害の要因の一つとなっている」が31.7%、「浄化センターなどで下水をきれいにするには大量のエネルギーが必要となる」が28.6%、「下水道管や浄化センターが災害等で被災すると、各家庭等の下水が流せなくなる」が26.9%となっている。

また、「ほとんど何も知らない」は33.8%となっている。

図表9-2-1 下水道の仕組み等について



年齢別にみると、50 歳代以下で「ほとんど何も知らない」が4 割前後あり、60 歳代（27.5%）、70 歳代以上（28.2%）に比べて多くなっている。

図表9－2－2 下水道の仕組み等について

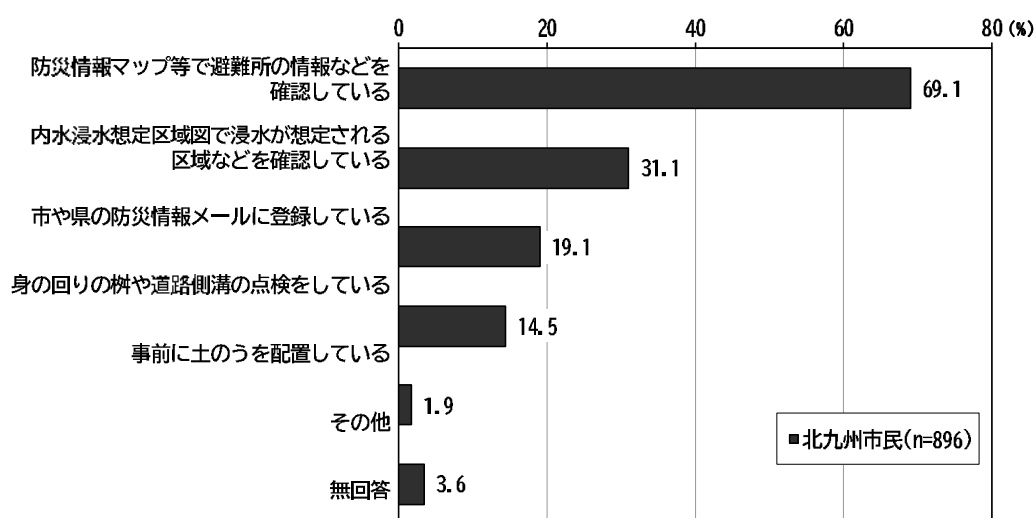
										(%)
		サンプル数 (件)	浄化センターで処理された水の 一部が再利用されている	雨の降り方が変化や都市化が 進んだことが、浸水被害の要 因の一つとなっている	浄化センターなどで下水をき れいにするには大量のエネル ギーが必要となる	下水道管や浄化センターが災 害等で被災すると、各家庭等 の下水が流せなくなる	下水道施設においては、大雨 時に未処理の下水が直接川や 海に流れることがある	下水を流す方法には、合流式 下水道と分流式下水道がある	ほとんど何も知らない	無回答
北九州市民		896	34.3	31.7	28.6	26.9	20.3	12.1	33.8	2.6
居住地別	門司区	95	32.6	27.4	26.3	25.3	14.7	12.6	35.8	3.2
	小倉北区	151	32.5	35.8	31.8	25.2	19.9	9.3	32.5	2.0
	小倉南区	201	32.8	34.3	29.9	24.9	22.4	14.9	35.3	1.5
	若松区	81	33.3	32.1	30.9	34.6	24.7	13.6	30.9	-
	八幡東区	62	33.9	35.5	29.0	24.2	22.6	14.5	30.6	3.2
	八幡西区	250	38.8	28.8	26.8	29.2	18.4	11.6	33.6	3.6
	戸畑区	56	28.6	26.8	23.2	23.2	23.2	5.4	37.5	5.4
年齢別	20歳代以下	56	39.3	19.6	26.8	17.9	25.0	12.5	41.1	3.6
	30歳代	52	30.8	28.8	30.8	28.8	21.2	7.7	46.2	-
	40歳代	122	36.9	29.5	27.0	24.6	19.7	8.2	39.3	0.8
	50歳代	198	30.3	28.8	23.2	23.2	17.7	6.1	39.4	1.0
	60歳代	207	37.2	39.6	36.2	27.1	22.2	9.7	27.5	1.9
	70歳代以上	255	32.9	32.2	27.1	32.5	20.4	20.8	28.2	5.5
形態別	一戸建て	478	34.5	30.8	29.5	28.7	21.8	12.1	32.8	2.9
	マンション・アパート等	406	33.3	32.8	27.6	24.6	18.2	11.8	35.7	1.7
世帯人数別	1人	141	32.6	31.9	31.9	28.4	19.1	9.2	38.3	1.4
	2人	359	33.7	34.5	30.9	29.0	22.3	13.1	30.1	2.8
	3人	187	37.4	31.6	27.3	24.6	17.6	12.3	30.5	3.7
	4人	144	31.9	31.3	27.8	27.8	19.4	11.8	37.5	2.8
	5人	44	40.9	13.6	13.6	15.9	20.5	15.9	45.5	-
	6人以上	20	30.0	25.0	15.0	20.0	25.0	5.0	45.0	-
家族構成別	単身	136	33.8	32.4	31.6	28.7	19.9	11.0	36.8	0.7
	夫婦のみ	298	34.6	35.6	31.2	29.2	23.5	13.4	29.5	2.7
	親と子	396	34.6	29.8	27.0	25.0	17.9	11.1	35.6	2.8
	親と子と孫	39	20.5	20.5	7.7	12.8	12.8	10.3	51.3	5.1
	その他	22	54.5	27.3	36.4	45.5	40.9	22.7	13.6	-

3 大雨への備え

問38. 大雨に備えて何か留意していることはありますか。(複数回答可)

大雨に備えて留意していることとしては、「防災情報マップ等で避難所の情報などを確認している」が69.1%と最も多くなっている。次いで「内水浸水想定区域図で浸水が想定される区域などを確認している」が31.1%、「市や県の防災情報メールに登録している」が19.1%、「身の回りの柵や道路側溝の点検をしている」が14.5%となっており、「事前に土のうを配置している」が1.9%と少なくなっている。

図表9-3-1 大雨に備えて留意していること



各属性別にみると、各属性とも「防災情報マップ等で避難所の情報などを確認している」が最も多く、細かな差はみられるものの、特徴的な傾向はみられない。

図表9-3-2 大雨に備えて留意していること

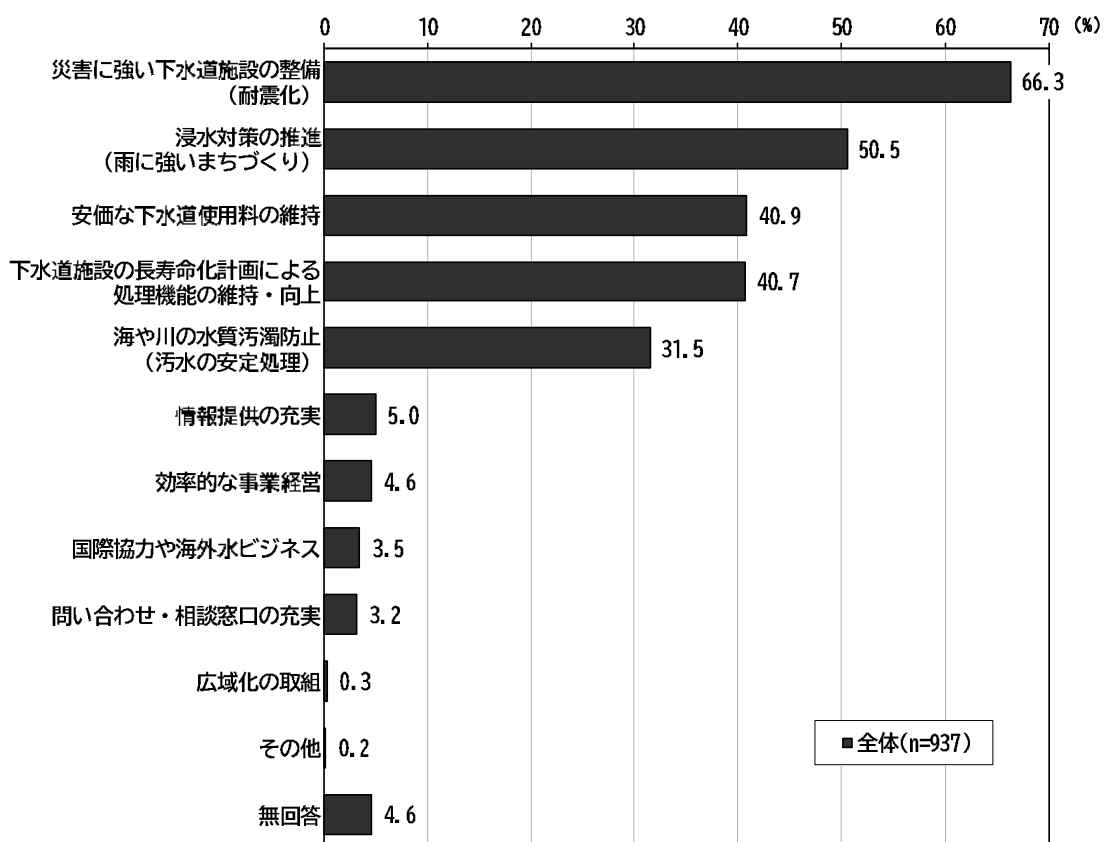
		サンプル数 (件)	防災情報マップ等 を確認している	浸水想定区域で 浸水が確認されている	市や県の防災情報メ スに登録している	身の回りの樹や道路側 溝の点検をしている	事前に土のうを配置し ている	その他	(%) 無回答
北九州市民		896	69.1	31.1	19.1	14.5	1.9	3.6	9.4
居住地別	門司区	95	80.0	24.2	17.9	12.6	4.2	3.2	7.4
	小倉北区	151	72.8	37.1	17.9	9.9	0.7	2.6	9.9
	小倉南区	201	68.2	36.8	20.4	14.4	3.0	2.5	9.0
	若松区	81	70.4	27.2	17.3	19.8	1.2	2.5	11.1
	八幡東区	62	75.8	24.2	21.0	14.5	-	3.2	8.1
	八幡西区	250	61.6	29.2	18.0	18.0	2.0	6.0	8.8
	戸畑区	56	67.9	28.6	25.0	7.1	-	1.8	14.3
年齢別	20歳代以下	56	57.1	32.1	30.4	7.1	5.4	3.6	12.5
	30歳代	52	75.0	44.2	19.2	9.6	-	1.9	9.6
	40歳代	122	71.3	40.2	23.8	8.2	1.6	0.8	9.0
	50歳代	198	70.7	27.3	29.3	9.6	1.5	4.0	7.1
	60歳代	207	69.6	28.5	16.9	15.0	1.9	5.8	8.2
	70歳代以上	255	68.2	28.6	8.2	23.9	2.0	3.1	11.4
形態別	一戸建て	478	66.3	30.8	18.8	22.4	2.1	4.0	9.8
	マンション・アパート等	406	72.7	31.8	19.2	4.9	1.7	3.0	9.1
世帯人数別	1人	141	66.0	24.8	17.7	7.8	-	5.7	11.3
	2人	359	69.6	31.8	15.6	18.9	2.5	3.9	9.2
	3人	187	64.2	29.4	23.0	12.8	2.1	2.7	12.8
	4人	144	76.4	34.0	22.9	13.2	2.1	2.1	4.2
	5人	44	72.7	45.5	18.2	6.8	2.3	4.5	9.1
	6人以上	20	65.0	30.0	30.0	25.0	-	-	5.0
家族構成別	単身	136	68.4	26.5	19.1	8.8	-	5.1	8.8
	夫婦のみ	298	70.5	31.5	15.1	18.5	1.7	4.7	8.7
	親と子	396	68.9	32.8	22.0	13.1	3.0	2.5	9.8
	親と子と孫	39	66.7	30.8	17.9	15.4	-	2.6	5.1
	その他	22	68.2	27.3	22.7	18.2	-	-	13.6

4 今後重点的に力をいれてほしい下水道事業

問39. あなたが、北九州市の下水道事業について、今後、重点的に力をいれてほしいものは何ですか。(○印は3つまで)

下水道事業で今後重点的に力をいれて欲しいこととしては、「災害に強い下水道施設の整備（耐震化）」が66.3%と最も多くなっている。次いで「浸水対策の推進（雨に強いまちづくり）」が50.5%、「安価な下水道使用料の維持」が40.9%、「下水道施設の長寿命化計画による処理機能の維持・向上」が40.7%、「海や川の水質汚濁防止（汚水の安定処理）」が31.5%となっている。

図表9-4-1 今後重点的に力をいれてほしい下水道事業



各属性別にみると、細かな差はみられるものの、特徴的な傾向はみられない。

図表9-4-2 今後重点的に力をいれてほしい下水道事業

		サンプル数 (件)	災害に強い下水道施設の整備 (耐震化)	浸水対策の推進(雨に強いまちづくり)	安価な下水道使用料の維持	下水道施設の長寿命化計画による処理機能の維持・向上	海や川の水質汚濁防止(汚水の安定処理)	情報提供の充実	効率的な事業経営	国際協力や海外水ビジネス	問い合わせ・相談窓口の充実	広域化の取組	その他	(%) 無回答
全 体		937	66.3	50.5	40.9	40.7	31.5	5.0	4.6	3.5	3.2	0.3	0.2	4.6
居住地別	門司区	95	68.4	54.7	34.7	36.8	26.3	8.4	4.2	5.3	7.4	-	1.1	3.2
	小倉北区	151	60.3	54.3	35.8	43.0	37.1	4.0	7.3	2.0	4.6	-	-	4.6
	小倉南区	201	74.1	53.2	42.3	36.3	30.3	3.0	3.0	4.0	3.5	-	-	3.0
	若松区	81	65.4	46.9	43.2	46.9	45.7	-	4.9	1.2	2.5	-	-	3.7
	八幡東区	62	64.5	41.9	38.7	45.2	17.7	6.5	3.2	6.5	-	-	-	11.3
	八幡西区	250	64.8	51.2	43.6	42.4	28.8	7.2	4.0	3.2	2.4	0.4	0.4	2.4
	戸畑区	56	67.9	50.0	32.1	41.1	35.7	5.4	7.1	5.4	-	1.8	-	8.9
	芦屋町	13	61.5	23.1	46.2	38.5	38.5	-	7.7	-	-	-	-	23.1
年齢別	水巻町	17	47.1	23.5	70.6	17.6	29.4	5.9	-	-	5.9	-	-	17.6
	20歳代以下	56	66.1	48.2	41.1	30.4	26.8	8.9	-	-	10.7	-	-	3.6
	30歳代	54	74.1	50.0	33.3	46.3	27.8	7.4	1.9	-	-	-	-	5.6
	40歳代	124	67.7	57.3	43.5	41.1	31.5	3.2	4.0	2.4	2.4	-	-	2.4
	50歳代	201	66.2	52.7	46.3	42.8	28.9	4.5	4.5	2.0	4.0	0.5	-	3.0
	60歳代	214	68.2	49.5	38.3	43.0	40.2	4.7	5.1	3.7	2.8	0.5	-	3.7
	70歳代以上	272	63.2	47.4	38.6	37.9	29.0	5.1	5.9	5.9	2.6	-	0.7	7.0
満足度別	満足派	797	68.3	52.3	37.4	41.5	32.5	4.4	4.3	3.8	2.5	0.3	0.3	4.6
	中間派	72	56.9	38.9	56.9	36.1	26.4	11.1	2.8	1.4	6.9	1.4	-	5.6
	不満派	56	51.8	37.5	62.5	37.5	25.0	5.4	8.9	3.6	8.9	-	-	3.6
形態別	一戸建て	500	66.8	48.2	41.4	43.6	29.2	4.6	5.0	3.2	3.4	0.2	0.4	4.4
	マンション・アパート等	416	65.9	53.1	39.9	37.7	34.1	5.5	4.1	3.8	2.9	0.2	-	4.6
家族構成別	単身	148	60.8	47.3	41.2	38.5	37.8	5.4	2.7	5.4	2.7	-	1.4	3.4
	夫婦のみ	304	65.5	49.7	38.5	41.4	33.9	4.9	6.3	3.9	3.3	0.7	-	4.9
	親と子	408	67.9	53.2	41.7	41.2	28.9	4.7	3.7	2.5	3.2	-	-	4.9
	親と子と孫	39	71.8	48.7	33.3	41.0	28.2	7.7	5.1	2.6	2.6	-	-	-
	その他	23	82.6	47.8	65.2	34.8	13.0	4.3	8.7	-	4.3	-	-	4.3

§10 上下水道局に対する意見・要望

問40. その他、上下水道局に対してご意見等があればお聞かせ下さい。

上下水道局に対する意見としては、937 人の中の 211 人から 298 件の記入があった。
項目別の内訳、各項目の主な意見は、以下のようになっている。

項 目	件数
水の供給及び下水処理に関して	50
上下水道局の事業に関して	30
上下水道料金に関して	29
広報に関して	25
上下水道設備に関して	17
上下水道局に関して	16
災害に関して	11
支払い方法に関して	6
アンケートに関して	15
感謝・はげましの言葉	88
その他	11
合 計	298

【水の供給及び下水処理に関して】

- いつも安価な水道水の提供をありがとうございます。下水道についても快適に使用させてもらっています。維持管理ご苦労様です。今後とも継続よろしくお願いします。
- 蛇口からコップで直ぐ飲めるとはなんと幸せな事でしょう。日頃の業務に感謝しております。ありがとうございました。
- 水道水に薬品の臭いが出てないし、水がきれい。他県で飲む水はおいしくない。他国から来た方もおいしいと言っていた。

【上下水道局の事業に関して】

- 海外水ビジネスについて、どこの国で具体的にどんな内容の仕事で、いくらくらい利益があるのか、とても興味があります。
- 生命に関わる重要なインフラであり、民営化ではなく公営を維持いただきたい。
- 近年、生活を脅かす気候変動や進む温暖化で、私たちを取り巻く自然環境は昔とは大きく変わり、自然災害も不安が募ります。水道事業を担う方々のおかげで平穏な日常生活が成り立っています。数々の災害インフラに負けない設備等の維持管理の強化を第一に考え、これからも、安心・安全、そしておいしい水道水の供給を切にお願いします。

【上下水道料金に関して】

- 人口減少や水道管の老朽化など問題は多いですが、使用料金面も考えて維持して頂きたいです。
- 下水道料金が安い。昼間トイレはほとんど使わないので。
- 老朽化して水道管が破裂した様子を TV で見たことがあります。それを防ぐためにも老朽化したところは替えていてもらいたいです。そのために水道料金が値上げになるのは納得できません。北九州はとても頑張っていると思います。ありがとうございます。
- 年金生活者等は水道代まで上がったら益々困窮しそう。

【広報に関して】

- 上下水道局の事はほとんど理解していなかったもので、広報誌が次回届いたら読んでみようと思います。いつもきれいで、おいしい水の提供ありがとうございます。
- 知らない事ばかりです。上下水道の仕組みなど詳しく広報誌を配布してほしい。
- 年寄りにわかりやすい広報をお願いします
- 生まれた時からずっと北九州に住んでいるので、あまり価値がわかっていませんが、北九州の水はレベルが高いと聞いたことはあります。例えば、子育てしやすい街みたいに、水が良い事を市として、もっとアピールしたらいいのにはと思います。水道水をそのまま飲む事をアピールしていいと思います。

【上下水道設備に関して】

- 人口減少に伴うインフラ見直しはすでに行われていると思いますが、例として配管ルート効率化なども検討されては良いのではと思います。
- これからも上下水道の適切な維持、管理をお願いします。
- 人口減少や水道管の老朽化など問題は多いですが、使用料金面も考えて維持して頂きたいです。

【上下水道局に関して】

- 住みよい街作りに頑張って下さい。国全体での議論の強化を望みます。
- 縦割りではなく、予算の再配分でいろいろな課題に取り組んでほしい。

【災害に関して】

- 雨水の大規模貯水施設を見学した事がある。災害の対策がなされていることに感心した。生活している中で当たり前に思っているので反省したい。日々努力している事がよくわかりました。私たちもできる事があるので心がけたい。感謝します。
- これからも北九州市民の安心・安全の為に飲料水や、災害に強い水道施設の整備等よろしくお願いいたします。
- 災害対策(浸水)に力を入れてほしい。

【支払い方法に関して】

- 料金支払いをクレジットでもできるようにしてほしい。電気、ガス、電話はクレジット可なのに、水道だけ不可なので、家計管理が面倒になっている。料金は1番安いと謳っているが、使用量が増えた時の安さも公開してほしい。

【アンケートに関して】

- アンケートなのに質問項目が多すぎる。
- 今回アンケートに答えることで、上下水道局の全く知らなかった諸事情を知ることができ、大変勉強になりました。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。